

年頭のごあいさつ

南部町長 佐野和広

新年明けましておめでとうございます。
町民の一人お一人が今年への想いを胸に、健やかに新春を迎えられたこと存じます。

昨年は大変な年でありました。世界中の人々が「テロ」という無差別殺戮（さつりく）の恐怖に慄（おそ）ましました。そこには、我々の計り知れない歴史的な背景がある訳ですが、一日いや、一刻も早く事態が好転することを願うばかりです。

また国内に目を転じますと、安保関連法案の成立、環太平洋連携協定（TPP）交渉の大筋合意、さらに2017年4月から消費税10%へ引き上げる際の食品全般の税率を8%に据え置くなどの軽減税率の導入など大きな流れがありました。

今夏には参議院選挙があります。今年から18歳以上に選挙権が与えられますが、その事がどの様な選挙結果をもたらすのか注視してまいりたいと思いません。ひよっとすると、衆参同一選挙になるかもしれませんが……

さて昨年4月には、私の町政2期目がスタートしました。予想を越える急速な少子・高齢化のうねりの中で、この町をどの様な方向に舵取りをするのか大きな責務を背負いました。いろいろと模索する中で、まず公約に掲げた種々の施策を確実に実行することが第一と考え、スピード感をもって行政に立ち向かっております。

具体的には、町の活性化の起爆剤になると期待されております中野の交流施設であります。いよいよ今年度中に建屋と外構工事、それに附帯する水回り（貯水槽・送水ポンプ・配水管）の設備の工事に取りかかります。その事と並行しまして、施設の運営先の選定も早めに決定致します。

またこの施設内には、私の公約でありました南部

氏の展示館を設置致します。当初は、別の場所での資料館建設を想定していたのですが、多額の出費を要しますので見直しを図り、町の情報発信を兼ねた展示館と致します。

次に町民の永年の懸案事項でありました国道52号線の雨量規制解除についてですが、昨年8月に国交省・地権者・町との話し合いが付き、いよいよ国交省がその為の工事に着手する運びになります。

それから、もう一つの町民の願いでありました新々富士川橋建設についてですが、今月18日に安全祈願祭及び起工式が行われます。全て完成するのはあと数年を要しますが、いよいよ町の活性化に向けての動きが加速してまいりました。

この2つの事項のメリットは、今まで通勤・通学の為に富士市・富士宮市に移り住んでいた人達が「ふるさと」へ帰る方向が向かってくれることだと思っております。その為にも、今年度から町有地の分譲に力を注いでまいります。

それから、中野の企業誘致についてですが、現在は中部横断道の残土置場として使用しておりますが、今年の8月頃までには撤去致します。これまでに、地籍調査を行ない小字別に4筆に整理致しました。現在、進入道路・排水路・区画の整備を段階的に進めております。

誘致先については、これまでに数件の引き合いがありました。具体的な事業展開には到っておりません。しかし私は、決して悲観しておりません。ただ水の使用が制限される場所であること、働き手の確保が出来るかなど、企業進出の力ギとなる事項がありますので、慎重に事を進めております。

それから、町民の健康・長寿を願うスタートした「なんぶ健康会議」は、今年に更に浸透を図り、住み易い故郷づくりに向けて力を注いでまいります。

また昨年10月には、南部リズム会のメンバーを中心に「安全・安心な町づくり」の為の地域安全ステーションが総合会館の一室に開設されました。この様な地域住民による自主防犯活動は、単に犯罪を減らすという効果だけではなく、活動を通じたコミュニケーションの再構築につながりますので、地域活性化にも大きな貢献をしていただけるものと感謝をしております。

教育に関しては、好評であります。「未来塾」は引き続き支援をして、子供達の学力向上を目指してまいります。

次に本町の竹林整備につきましては、NPO法人なんぶ里山研究会の皆様が頑張っておりますので、大いに期待しているところでありますが、町としてもできる限りの協力をするつもりであります。

ところで昨年は、日本全国が「地方創生」元年として各自自治体が将来の人口減対策を柱として、総合戦略を策定しました。本町も「産・官・学・金・労」の各分野から16名の委員を募り、何度となく会議を重ねて、昨年末に完成致しました。3月には、総合戦略の冊子を町内に配布致します。今後は、この方針に基づいてアクション（行動）を起こしてまいります。

いずれにしても地域活性化というのは、大きな命題であり、それに行きつく為には大変な努力・知恵が必要となります。しかし、何ともしや切るといふ信念を持って、職員一丸となって頑張っておりますので何とぞご協力ご支援をお願い申し上げます。

結びに、町民の皆様には、本年が幸多き年であり、ますことをご祈念申し上げまして私の年頭の挨拶と致します。